

ご存知ですか？

京都に**米軍基地**があることを (NO. 19)

京丹後市の「航空自衛隊経ヶ岬分屯基地」の東隣に米軍基地が造られました。ここは風光明媚で、丹後半島を中心に「海の京都」として京都府も観光に力を入れている所です。

発行:2021年11月15日



米軍基地の所在地

米軍基地建設の経過

2013年2月 日米首脳会談で京丹後市・宇川に「米軍Xバンドレーダー」を配備することを決定

〃 9月 京都府と京丹後市による「基地建設協力表明」

2014年5月 基地工事着工

〃 12月26日 米軍Xバンドレーダー基地の本格運用開始

2018年4月～米軍人の宿舎建設などの2期工事。21/5月完了



自衛隊基地と米軍基地に挟まれて「穴文殊」の参道がある。

「穴文殊」参道の西には自衛隊基地
(3年かけて拡大強化され2018年3月完成)



「穴文殊」参道の東は米軍基地

国道178号線に隣接する基地。手前は集落のお墓。大戦の戦没者も祀られている眼前に軍事基地が。



写真は清涼山「九品寺」
(通称「穴文殊」)の参道

参道の両側には「京都府の自然200選」に選ばれたクロマツの大木が並んでいます。

地元の人たちの信仰のよりどころとして大事にされている「穴文殊」は周囲358度を軍事基地に囲まれてしまいました。'21・6・16に「重要土地利用規制法」が国会で強行採決され成立しました。ここ経ヶ岬の軍事基地周辺が国の監視範囲に入り、「穴文殊」のお参りも監視され、チェックされるのでは。国道沿いに並ぶ日・米の軍事基地が、住民にとってますます重苦しいものになっています。

この米軍基地は、米国の「ミサイル防衛システム」の一環として造られたものです。中国や朝鮮を仮想敵とし、米国に向けてミサイルが発射されたら、そのミサイルを探知し、追尾し、撃墜するための情報をキャッチするXバンドレーダーを配備した、**米国を守るための**、米軍基地です。安倍政権時に国は「日本の防衛のため」と言い、府や京丹後市は「住民の安全・安心の確保は国が約束してくれた」と地元住民を強引に説得して造った米軍基地です。

2期工事では軍人が入る隊舎や厚生棟、警衛所や防護壁などが建設され基地機能が強化されました。一方で住民の安全を守るために、当初住民と交わした約束を次々と無視する米軍。米軍の意向を優先して約束違反を受け入れる防衛省。「お願い」するだけの府や市。住民が追及してもなかなか出てこない情報など米軍基地は「日米地位協定」の壁で守られています。集落の一角に異質な場所を押し付けられた地元の不安や苦悩を一緒に考えてみませんか？

基地や軍備で「平和」は築けません



(米陸軍の広報資料より)

経ヶ岬での日米合同演習 (21年6月)



自衛隊の中東派兵は憲法違反です

2020年1月、政府は「日本船舶の安全確保」を口実に中東へ自衛隊を派兵。国会の承認も経ずに、また1年延長しました。不測の事態が起これば「海上警備行動」を発令するとして紛争地帯への派兵を強行しました。

経ヶ岬から見えてくる、日米軍事一体化への道

「オリエント・シールド 21」と命名された陸上自衛隊と米陸軍の最大規模の日米合同軍事演習が6/18~7/11全国をつないで実施されました。宇川では米国の部隊も参加し、生物・化学兵器に対応した訓練も行われました。「攻撃されることは無い」(近畿中部防衛局の説明)はずの基地で「基地警護訓練」が年々大規模になっています。米軍と自衛隊の一体化が進んだ先は、一緒に戦争する道です。



2021・6・22「日米合同軍事演習反対」を叫ぶ。

武力で平和はつukれない

経ヶ岬の米軍基地は、2018年3月「東アジアの米軍ミサイル防衛戦略司令部」の拠点の1つに編成され軍事的役割が一層高まりました。民意も法律も踏みにじって沖縄・辺野古新基地建設を強行するとともに、「南西諸島」へのミサイル配備の準備を進めた安倍・菅に代わった岸田政権も、また同じ路線を突き進むでしょう。米国から敵基地攻撃能力を持つ戦闘機やオスプレイなどを大量に購入し、自衛隊の本格的な海外派兵への準備が進められています。武力でしか国を守れないというのは、危険極まりない軍拡競争の道です。戦争の準備をさせない運動こそが、いま求められているのではないのでしょうか。静かで穏やかな京丹後を取り戻しましょう!

軍拡ではなく平和の内に生きられる社会を

コロナ禍で人々のいのちと暮らしが大きな影響を受けている中で、日本の軍事予算は、いまや5兆5千億円にまで膨れ上がっています。さらに自民党はG N Pの2%まで(11兆円)倍増するとしています。いま政治が最優先すべきは軍拡ではなくいのちと暮らしを守ることです。

「米中対立」が強まるなか、米国は「ミサイル防衛」体制を強めています。経ヶ岬のXバンドレーダー基地もその一角を占めています。

日本も「南西地域」の防衛を想定し、陸上自衛隊10万人が参加する大演習をしています。これは自衛隊が「南西諸島」で実際に作戦を行うための訓練です。米中が武力で対決すれば、日米軍一体化で自衛隊も参戦し、自衛隊基地も標的になります。米中の対立を決して武力で解決させてはなりません。ましてや日本が米国と一緒に戦うなど絶対に許されません。

日本は米国にも中国にも対立回避を訴え、愚かな戦争をしないための外交努力を強める時です。それが憲法9条を持つ日本の役割です。



経ヶ岬展望台方向から見る米軍基地の「レーダーサイト」

米軍Xバンドレーダー基地反対・京都連絡会

連絡先：京都市上京区四番町121-5 大湾方 TEL/FAX：075-467-4437

E-mail：kyogamisaki2013@yahoo.co.jp

あなたのご意見をお聞かせください